

2023
April
4
月号

広報紙

KOBEシニア元気ポイント事務局

元気だより

Vol.
13

みなさま、こんにちは。早いものでもうゴールデンウィークが近づいてきましたね。みなさまのご予定はいかがでしょう。コロナウイルスの規制緩和も徐々に始まり、新たに活動を始められる方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。また、昨年度末には多くの方からポイント交換申請をいただき、みなさまのご活躍を実感しました。広報紙「元気だより」では、これからもみなさまが活動したいと思える話題をお届けしていきたいと思えます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします！

活動登録者が

1,500人を超えました

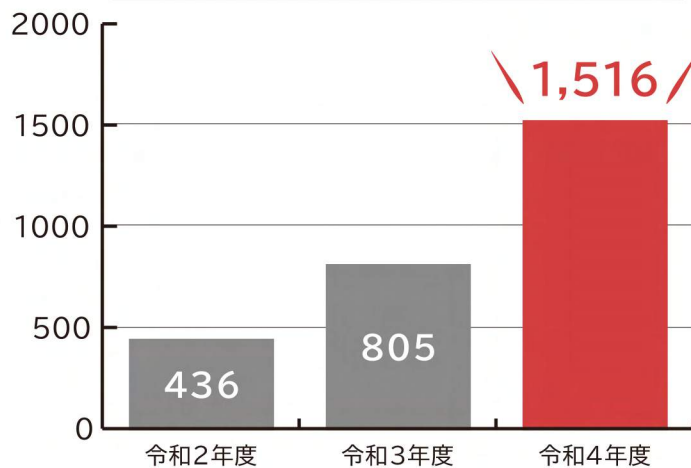
令和4年度で累計活動登録者数が1,516人(男性486人、女性1,030人)になりました！年代別にみると70～79歳(970人)が最も多く、80歳以上で登録されている方は281人です。みなさまの「なにか新しいことにチャレンジしたい！」「誰かの役に立ちたい」というお気持ちのあらわれかと思えます。

また、活動受入施設は202施設となりました。高齢者施設が150施設と最も多く、こども施設が52施設となっています。

みなさまが無理のない範囲でご自分にあった活動先が見つかりやすいよう、受入先の増加と対象施設の拡大に向けて取り組んでおりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

受入施設等の最新情報は、KOBEシニア元気ポイントのホームページで確認できます。ネット環境がない方や、パソコン、スマートフォンを使っていない方は、お気軽に事務局へお問合せください。

活動登録者数



年代別はこちらです

65歳～69歳	265人(男性78人、女性187人)
70歳～79歳	970人(男性295人、女性675人)
80歳～89歳	274人(男性110人、女性164人)
90歳～	7人(男性3人、女性4人)

活動受入施設さまからこのようなお声をいただいています♪

コロナ禍で消毒などの作業が負担になっていたのですが、本当に助かっています！「ありがとう」が、施設の中にあふれるようになりました。

レクリエーションなどがマンネリ化してしまった時、様々な特技を持ったみなさまに助けをいただくことで幅が広がりました！

たまに来てくださる活動者さんが新鮮にうつり、利用者さんも嬉しそうです！今日は〇〇さんは来ないの？と聞かれることも(笑)

身体介護等で職員の手が取られているときに、利用者さんを見守ってくれる目が増えて、すごく助かっています♪

久光スプリングス ホームゲーム神戸大会

現場レポート

3月10日から12日にかけて47名の活動者が会場設営等の準備から大会当日の会場内外の運営サポートを行いました。

10日には、試合会場の椅子並べなどの会場設営と来場者に配布するチラシやマスクなどの封入作業を行いました。会場設営では、スタッフと一緒に椅子同士の間隔を測りながら丁寧に並べて設営しました。配布物の封入作業では、グループに分かれ、流れ作業で袋詰めをしました。久光スプリングス様のご厚意でKOBESINIA元気ポイントの紹介チラシも封入させていただきました！

11日と12日は、屋内と屋外に分かれての活動でした。屋内では試合中の会場巡回、子ども縁日の運営補助、試合間の換気が行われ、屋外では子ども向けアトラクションの運営補助を行いました。アトラクションでは、子どもたちと活動者が楽しく交流する場面や活動中の祖父の姿を一目見ようとお孫さんが遊びに訪れるなど、和やかな時間が流れていました。

休憩中は観客席から久光スプリングスの試合を観戦し、場内に響き渡る声援や躍動する選手の姿を間近で感じました。初めてバレーボールの試合を生で観戦した活動者からは、迫力があって楽しかったなどの感想が寄せられました。

佐賀県鳥栖市を本拠地としている久光スプリングスは、Vリーグに所属するバレーボールチームで、練習等の活動は神戸市西区の練習場をはじめ、兵庫県内各地の体育館で行っている神戸ゆかりのチームです。このたびKOBESINIA元気ポイントは、そんな久光スプリングスのホームゲーム神戸大会の運営をお手伝いする機会をいただきました。

試合期間中は天気に恵まれ、子どもから大人まで多くの人がグリーンアリーナ神戸に来場し、会場は活気に満ちていました。KOBESINIA元気ポイントは、スポーツを通じて地域を盛り上げるイベントに今後も積極的に参加していきます。



友だち募集中

友だち追加をすると、イベント活動募集などの最新情報をいち早く受け取れます！



友だち追加をする手順

- ホーム画面の「ホーム」アイコンをタップします。
- 「+」アイコンをタップします。
- 「QRコード」アイコンをタップします。
- このQRコードを読み取ります。読み取るとは、画面に映すこと。
- 「追加」アイコンをタップします。

タップとは、スマートフォンの画面を指先で軽く押す操作のこと。

活動者・施設インタビュー

須磨区の活動受入施設「社会福祉法人きたはりま福祉会 離宮しあわせ荘」で活動者の大祢(おおね)さんと施設長の水澤さん、施設担当者の小林さんにお話を聞きました！



今の施設で活動することになったきっかけは？

大祢さん:親しい友人がこちらの施設のすぐ近くに住んでいて、場所もわかっていたし自宅からも通える距離だったので電話しました。実際に活動してみて、すごく良い施設だなと思いました。利用者さんも良い人ばかりですし、職員の方も利用者さんみんなのことをすごく大切にしているなど感じます。

活動内容はこういったものですか？

利用者さんにウエルカムドリンクとお菓子をセットにして出すことと、入浴後の利用者さんに飲み物を出すことです。

活動の際に注意・工夫していることは？

暑い日は、早めにお茶を入れておいて利用者さんに出す前に冷ましておきます。入浴後は常温のポカリスエットに氷を入れて出していますが、あらかじめコップに氷を入れて、コップを冷やしておきます。そうすると、持った時にも冷たくて良いですよ。そんな風に少しでもおいしく飲んでもらえるように考えて工夫しています。

これから活動を始められる方へメッセージを！

私は施設に電話することが苦ではなかったですが、私のような性格の人ばかりではないと思うので、施設に電話するのが一つの山だろうと思います。でも神戸市がきちんとかかわっている制度ですし、65歳以上というくりもあるのです、怖がらずにとりあえず電話してみたら良いのではないのでしょうか？私はすごく楽しく活動できています。

この制度に参加したきっかけは？

小林さん:今までも近隣のボランティアの方に多く活動してもらっており、施設としてとても助けていただいていた。地域社会に開かれた介護施設を目指しておりますので、少しでも地域住民の方が施設のことを理解していただくことに意義があると考えて参加しました。

受入して良かったことは？

小林さん:忙しい時間帯にピンポイントで来ていただいて、非常に助かっています。利用者の方も活動者の方との会話などを楽しみにされています。職員だけでやっている、時々「これで良いのか？」と思うこともあります。外部の方や色々な経験をされている方が入ることによって良い刺激になっていると思います。

活動者さんはこういった存在ですか？

水澤さん:職員は忙しさのあまり事務的に仕事をしてしまうこともあります。ですが、利用者さんと近い距離間で接していただける活動者さんと職員の両方がいることで、施設がより良くなると思っています。本当にありがたいです。

これから活動を始められる方へメッセージを！

小林さん:自分自身や家族の方、誰しも高齢になるにつれ、精神的、または肉体的に人に助けられずには生活できなくなります。介護施設で活動をされることは、単なるボランティアではなく意義のあることだと信じています。



須磨区

社会福祉法人きたはりま福祉会
離宮しあわせ荘

須磨区離宮西町2-2-3

☎078-731-4164

定員30名の特別養護老人ホーム



募集中の活動

特別養護老人ホームにて

- ✓ 利用者が利用する場所の簡単な清掃・消毒
- ✓ 洗濯物の整理、寝具の環境整備

活動風景探訪

事務局スタッフが
活動におじゃましました

地域密着型デイサービス
たるみ・ともの家

垂水区川原1-1-15

☎078-751-5457

※既存の活動者のみで運用中



高校の同級生だったお二人。萱嶋さん(右)が佐脇さん(左)を誘って説明会に参加し、現在の活動へとつながった。

活動中の様子を取材する機会をいただき、活動者の萱嶋さんと佐脇さんの活動風景を拝見するべく垂水区にある地域密着型デイサービス『たるみ・ともの家』に行ってきました。お二人はこちらの施設で月に一回ほど歌と演奏を披露する活動をされています。

事務局スタッフが到着した時にはすでに活動が始まっており、室内は明るい雰囲気になっていました。流暢な曲紹介に聞き入っていたのですが、ナレーションをされているのが施設職員さんだと聞いて驚きました。活動後の取材でお二人に伺ったところ、大きな施設などでは利用者さんと施設職員さんの関係が希薄などところがあるそうで、話題のきっかけ作りになればと施設職員さんによるナレーションを入れることを考えたそうです。曲の練習をしながらか歌詞付きのプログラムとナレーション原稿を作成するのは大変ですが、やりがいがありますと笑顔で話してくださいました。

披露する曲は利用者さんからのリクエストが多いそうです。そのため、マスク越しですが、みなさん楽しそうに一緒に口ずさんでいました。活動時間は約一時間。最後にお二人が作詞・作曲された「デイサービス応援歌」でこの日の活動は終了しました。

※事務局スタッフが活動中の風景を拝見・取材し、元気だよりやホームページに掲載OKという活動者さまや施設さまからのご連絡をお待ちしています。

みなさまからのご好評を受けて第2弾を実施しました！1日活動体験

体験施設 **西神戸YMCA保育園**

OさんとIさんには工作準備の活動をしていただきましたが、お二人で楽しそうにお話しながら協力して手際よく作業を進めておられました。普段から子どもたちにむかし遊びや折り紙を教えているOさんは、「画用紙を切ったり、お絵描き用の冊子を作ったりと単純な作業でしたが、楽しくてあつという間に時間が過ぎました」と感想をいただきました。施設担当者の方からも、「工作の準備等をしていただけるのは大変助かります。今後の受入の参考にもなりました」と仰っていただきました。Oさんは現在もこちらで活動中です！



工作準備をするOさん(左)とIさん(右)

体験施設 **ロングライフ神戸青谷**

傾聴の活動に興味を持って応募されたOさんとNさん。お二人とも初めての活動という事もあり、最初は自分から利用者さんに話しかけるのに緊張気味の様子でしたが、職員さんからお話を振っていただいたり、利用者さんと髪の毛の手入れについてやお化粧、ヨガなどのお話をしているうちにリラックスされたようです。施設の良いところや、入所して良かったことなど、利用者さんのお話を聞いているお二人はとても楽しそうでした。体験会終了後には「機会があれば活動をしたい」と今後の活動にも意欲的でした。



傾聴の活動をするOさん(左)とNさん(右)

お問い合わせ

新しい活動受入施設やご近所の施設が登録されているかなど、活動場所に関するお問い合わせもお気軽にご連絡ください

KOBEシニア元気ポイント事務局

TEL.078-335-6543

〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-9-1 センタープラザ1007

FAX ☎078-335-6542

●受付時間：平日 9:00~17:00(土日、祝日、年末年始を除く)

メール ✉desk@kobepoint.jp

🌐 <https://kobepoint.jp> 🔍 **KOBEシニア元気ポイント**

本事業は、神戸市からの委託を受け実施しています。